
静内ケアセンターだより 2月 24日号

良いグループホームこそ経営環境が厳しい、良貨を朽ちらせるな・文責下川孝志

GHは、地域交流の場であり「相談業務」もできる！

静内ケアセンターでは「地域包括サポートセンター」を設けて、365日24時間体制の相談受け入れを行っているが、町営の「地域包括支援センター」は土曜・日曜・祭日は休みであり、朝9時～午後5時までの業務である。これだけでは、町民のニーズに答えられていないので我が法人が隙間を補完しているのです。

地域密着型サービスのグループホームにも様々な相談が寄せられる。在宅生活の継続で一番の問題が「認知症の進行」だからです。グループホームにはケアマネ・介護福祉士・リーダー研修修了者もおり、5年程度の経験があれば相談事案への対応が可能なのです。グループホームは地域交流を積極に進めておりますので、地域の居場所であり、お茶会も食事もできます。静内ケアセンターのグループホームは、向かいの生活者に配食(薬の管理も)もしています。グループホームがその地域にありことにより、多様なサポートが受けられ、将来の不安解消になっています。ホーム内だけの安心・安全の場ではないのです。特養と違い、町内に複数のグループホームが点在し、その機能を活かすことにより、在宅生活の継続を可能にしているのです。


